



鍋島と金襴手

—繰り返しの美—展

Nabeshima and Kinraude:
Recurring Designs Across Space and Time

会期 | 2024年4月17日(水) - 6月30日(日)

10:00 - 17:00 (入館受付は16:30まで)

※金曜・土曜は10:00 - 20:00 (入館受付は19:30まで)

月曜・火曜休館

※4月29日(月・祝)・5月6日(月・振休)は開館。

入館料 | 一般1,200円 / 高大生500円
※中学生以下は入館料無料。

注意 | ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。



TOGURI MUSEUM OF ART

戸栗美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-11-3 TEL 03-3465-0070

<http://www.toguri-museum.or.jp/>

当館ホームページ

 @toguri_museum  @toguri_museum



鍋島と金襴手 一繰り返しの美一展

Nabeshima and Kinrande: Recurring Designs Across Space and Time

整然と器面に続いていく文様。器種や時を越えて何度も出現する図様。江戸時代に佐賀で作られた鍋島焼や金襴手様式の伊万里焼のデザインの中には、「繰り返し」の手法が見られます。

鍋島焼は、佐賀鍋島藩から徳川将軍への献上を目的に創出されたやきもの。佐賀・伊万里の大川内山の藩窯にて製作されたもので、17世紀末期には様式が確立されました。洗練されたデザインが数多見られ、唐花文や更紗文、桃文などを繰り返して連続させた構図もそのひとつ。同じ図様が時代を越え、踏み返されることも珍しくありません。

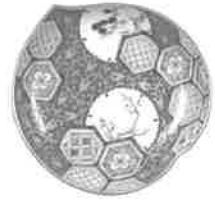
一方の伊万里焼の金襴手も、17世紀末期に成立した様式。佐賀・有田の民窯で焼造され、国内外で人気を博しました。様々な文様を組み合わせた緻密な構成が特色であり、皿と猪口などと器種をまたいであらわされる、定番の唐草文や幾何学文が見られます。また、色違いで表現される図様は、染付で骨格を描き上絵で彩色する、染錦ならではの楽しさがあると言えるでしょう。

藩の献上および贈答品であった鍋島焼と、国内外で需要された伊万里焼という性格の違いはありますが、同時代に成立した両様式の中には、「繰り返し」という共通したデザインの方向性が認められます。約80点が織りなす、「繰り返し」の美をご堪能ください。

2024年4月17日(水) - 6月30日(日)



色絵 更紗文 皿
鍋島
江戸時代(17世紀後半)
口径15.9cm



色絵 雪輪亀甲文 桃形皿
伊万里
江戸時代(18世紀前半)
口径21.2×20.2cm



色絵 菊牡丹文 壺
伊万里
江戸時代(17世紀末~18世紀前半)
高50.7cm



染付 桃文 皿
鍋島
江戸時代(17世紀末~18世紀初)
口径30.9cm



はかの表面の作品

左上:色絵 荒磯文 鉢 伊万里 江戸時代(17世紀末~18世紀初) 口径24.7cm
中央:色絵 唐花文 猪口 鍋島 江戸時代(17世紀末~18世紀初) 高6.5cm

展示解説

無料 入館券をお求めの上、
ご自由にご参加ください

『鍋島と金襴手一繰り返しの美一展』の見どころ

2階展示室にて、当館学芸員が主な出展作品の見どころをご紹介します。
5月18日(土)・6月15日(土) 各日14:00~(約45分) 予約不要

アート&イート

戸栗美術館
×
シェ松尾・松濤レストラン

戸栗美術館にて所蔵品をご鑑賞いただいた後、シェ松尾・松濤レストランにて佐賀県産の食材を使ったフレンチをご堪能いただけます。

5月1日(水)~3日(金・祝) 各日各回 10:30/11:00/11:30開始

佐賀県産の食材を使った特別メニューをご提供いたします。
※ワンドリンク付(シャンパン又はノンアルコールスパークリング)

参加費 20,000円(税込) 要事前予約/各日各回 先着6名様

予約サイトにてお申し込みください

<https://airrsv.net/toguri-event/calendar/>



【受付開始】
2月14日(水)
10:00~

ラウンジ&ギャラリー・トーク

「繰り返すデザイン

—鍋島焼と金襴手様式の伊万里焼を紐解く4つのアプローチ—

展覧会担当学芸員が、鍋島焼と金襴手様式の伊万里焼の魅力についてお話しいたします。前半は1階ラウンジにて鍋島焼と金襴手様式の伊万里焼に見られる4つの「繰り返し」の手法について概説し、後半は2階展示室にて展示解説を行います。

5月27日(月) 14:00~(約120分) 要事前予約/先着30名様

※当日はご予約の方のみご入館いただけます。

※13時30分開館、17時00分閉館です。

参加費 一般1,500円(税込/入館券を別途お求めください)

年間パスポート会員1,200円(税込)

予約サイトにてお申し込みください

<https://airrsv.net/toguri-reserve/calendar/>



【受付開始】
4月17日(水)
10:00~

同時開催

やきもの展示室

鍋島焼・伊万里焼ができるまで

江戸時代、鍋島焼や伊万里焼は、機密保持や生産性の観点から分業制によって幾人もの陶工の手を経て生み出されました。鍋島焼や伊万里焼の製作工程をご紹介します。

第3展示室

江戸時代の伊万里焼

—誕生からの変遷—

江戸時代初頭に誕生した伊万里焼は、技術の発展や時代の変化に合わせて様式も移り変わっていきます。年代毎の様式の変遷を追いながら江戸時代の伊万里焼を通観いたします。

次回展

古伊万里から見る江戸の食展

2024年7月11日(木) - 9月29日(日)

江戸時代の食文化を通じて、実用品としての伊万里焼の魅力を探ります。



← 一方通行 → 駅からの徒歩道順 P コインパーキング

交通: 渋谷駅八公口より徒歩15分/地下鉄A2出口より徒歩12分

京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩10分

※当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。